

★連研のための研究会開催

去る二月二十四日（金）西本願寺高岡会館において各組の連研スタッフ及び門徒推進員世話役を対象に「連研のための研究会」が開催された。本来は連研スタッフのみ対象であるが、各組の門徒推進員代表者である門徒推進員世話役が必ずしも連研スタッフとなっているわけではないため、連研本研修会を企画する連研活動推進協議会（教区委員会副委員長を含む常任委員六名、各組主幹、門徒推進員世話役の各ブロック代表）において、「各組の門徒推進員代表者が連研活動推進のための研修会の対象者でないのはおかしい」との判断により、今回から研修の対象に入ることとなったもの。

今回のテーマは「新たに連研を進めていくために〈門徒推進員からの問いかけ〉」

問題提起の島高志さん（新湊組門徒推進員）は、低迷する連研の開催状況について、門徒推進員世話役から組長会に①連研を含む組活動を極力再開してください②協議の場に門徒・門徒推進員・若手の僧侶を加えてください、の二点についての要望書を提出したことを挙げられ、現代に生きる人の多くは社会の様々な問題に生きづらさを感じているとし、「人々の苦悩に応える」という宗教としての役割を果たしていくには現代の社会の問題について考えることが必要で、今後の

寺院活動や組活動のことも合わせて連研活動は欠かすことのできない必須項目であると提言された。また、連研は受講者だけでなくスタッフも学んでいく場である

とし、教える立場ではなくむしろ聞く立場で受講者と向き合う姿勢が何より重要であるが、現場でそういう姿勢でのぞんできたのかということを一度問い直してほしいと述べられた。また、これまでの連研の抱えてきた問題の表れとして、社会問題を問うことに拒絶反応を抱えたままの門徒推進員が要請されてきたことに目を向けてほしいと提起された。

話し合い法座では「組活動や寺院活動そのものの門徒と僧侶の意思疎通に問題がある」「今日の研修会も大半が門徒で僧侶スタッフが一人も来ていない組が半数、このことが何より現状を物語っている。



もはや連研開催以前の問題」「連研を開催しようとしても受講者の掘り起こしにも予算的にも限界が来ている。組合同での開催を検討していく時期では」等、特に門徒スタッフからの厳しい意見が相次いだ。

講師の林史樹さん（連研中央講師 伏木組要願寺住職）は連研を妨げている背景として①連研に必要性を感じていない②現状を変えたくない・立場を守りたいという変化を恐れる意識③話し合い法座に対する苦手意識④社会的課題に向き合うことへの抵抗感等の僧侶側が抱える意識があるとされた。その上で新たに連研を進めていくためには①僧侶の意識改革②連研の目的の共有化と意義の再確認③運営スタッフ体制を整えること、の三点を挙げられ、何より特効薬のような解決法は無く、僧侶・門徒スタッフが共に話し合い進めていくしかないと言われた。

★開かれたお寺へ向けてのブロック別総代研修会

二〇二二年度のブロック門徒総代研修会が、二月二十四日に第4ブロック、三月二日に第2ブロック、三日に第3ブロックが開催され、寺院・門徒総代あわせて約一八〇名が参加。次ぎは第1ブロックが三月一〇日に開催が予定されている。

新型コロナウイルス感染の影響で二〇二〇年三月（二〇一九年度）の開催が急遽中止となり、その後三年間中止されてきたこの行事。四年ぶりの開催となった。

今回のテーマは「開かれていますか？あなたのお寺へお寺の現状をふり返る」。ご講師は四回とも新潟教区の麻田秀潤元基幹運

動推進中央相談員（新潟教区極楽寺前住職）。新潟県の真宗寺院の成り立ちを含め、寺檀制度（寺請制度）による真宗寺院と門徒・檀家の関係について話された。「門徒とは念仏の信仰に基づく仲間。

お寺は信仰によって支えられてきたが、寺檀制度により、支配する側（寺）と支配される側（檀家）となり、その制度の中で寺院は維持されてきた、現在の寺院離れの状況は、江戸時代に開墾と共に形成されてきた新潟県内の寺院では、既に三〇四〇年前



からはじまっていた。」と、これからの時代、どうすれば本来の寺院の姿を取り戻せるか、共々に考えていく必要性を協調された。また、〇〇さんのお母さん、とか、〇〇さんのおばあちゃん、とか、「その家の男性の名前は知っていても、女性の名前をほとんど知らなかった自分がいた。」と、自分自身も寺檀制度の中で生きてきたことへの反省も話された。私たちのお寺は、未だ、寺檀制度から抜け切ることの出来ないのが現状だろう。念仏の教え、で結ばれる本来のお寺と門徒の再構築には何が求められるのか、今後の課題。

◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

中央委員会を終えて

先日二月十日西本願寺伝道本部にて中央委員会が開催されました。今回も新型コロナウイルス感染予防のためwebでの会議となりました。参加者は総局より四名。宗務職員が十三名、各教区の代表者四十四名(三名欠席)でした。最初、報告事項①実践運動の経過報告、重プロの取り組みについて。が報告されました。内容は前回の委員会とほとんど同じで募金の金額の報告、募金のより一層の周知徹底という内容でした。そのあと協議事項として意見具申が三教区から挙がっており、それについて報告がありました。新潟教区からは①過去帳記載事項における「性別」の削除を求める事②教団内の書類における「性別記載」の削除の二点でした。福岡教区からは①得度、教師における「僧侶読本」に宗門の運動を体系的に学ぶことができるものを追加してほしいというもの②二〇一九年刊行された「拝読浄土真宗のみ教え」改訂版において(浄土真宗の救いよろこび)が削除されたため、その再掲載を求める。という二点でした。最後に鹿児島教区から「過去帳等の取扱基準」の徹底のための具体的な方途に関連した意見具申がされました。

今回、高岡教区として意見具申はしておりませんが、口頭での質問として以下の四点の質問をいたしました。①現在国会において戦争に関する議題が多く、のぼり防衛費の増大などの議論がされていますが、宗門では「平和に関する論点整理」をたたき台として平和問題に関する具体的な取り組みをしていく。と表明されましたが今後宗派として何のメッセージも出さず行動も起こさないのでしょうか。②「千鳥ヶ淵法要」がコロナ禍のため大幅縮小されていますが今後宗派として法要をどう位置付けしていくのか。③現在教務所長の兼任が進んでいますが、その弊害と

して各種研修会が行われなかったりしている教区があると聞く。同朋運動の衰退につながるのではないか。運動を進める宗派の姿勢が問われているのではないか。④中央委員会をオンラインではなく実際に参集しての開催を求める。①に対しては「各教区でもさらに非戦平和の取り組みを進めてほしい。宗派ではウクライナ侵攻を受け、総合研究所や六条円卓会議にて対応すべき課題に対して議論した。この結果は宗報に掲載する」という事でした。また「七月に先の大戦であった沖縄戦のDVDを各教区で上映会を行った」という回答でした②に対しては「現在環境省と墓苑側が参集を認めないため現在法要は縮小」という話でした。③に関しては教務所長の役割を説明され「所長のマネージメント能力が問われる所であり、大丈夫、運動の衰退にはつながらない」と言われました。④に対しては「総局、職員、中央委員がみんな集まることで五十名以上の大所帯になる、費用も一回開催に二百万はかかる。そういった理由から現地開催は難しい。今後はズームを用いながらハイブリッドな開催を考えていく」という回答でした。

今回は三教区から意見具申が出ました。複数の教区から意見具申が出るのは久しぶりのことです。またそれに関連して各教区の委員からも活発に意見が出ていました。

このように各教区の中央委員が意見交換し、お互いが抱える課題を克服するため話し合いを重ねる事が大切です。

実践運動は「自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現のため」の運動です。私たちが差別問題に立ち向かい、心豊かに生きるために具体的に行動を起こす。その一歩がこうした話し合いではないでしょうか。「差別被差別からの解放」をめざす仲間が集う中央委員会になるようにしたいと思えます。

◇これからの日程（3/14～4/30）◇

3月	教区・財団行事	教化団体・組行事
14	常例法座	全国総代会総会（web） 布教団連合総会（web）
15	聖典セミナー	特別法務員雅楽研修会
17	教区常任委員会	仏婦常任委員会
21		寺青45周年パーティ
22		仏壮理事会
23	教区会	
24	財団理事会・評議員会	いろは塾
27		布教団研修会
28	教区委員会全体会	
29		砺波組・氷見組・氷見東組団体参拝
4月		
1		水波組・川上組・氷見西組団体参拝
6		講社役員会
8		門徒推進員団体参拝（10日）
11		新湊組・五位組団体参拝
14	常例法座	糸岡組・射水組団体参拝
15		仏壮・仏青団体参拝（16日）
19		北同推総会
20	聖典セミナー	
21		宗派仏教婦人会総連盟総会（web） いろは塾
24		教区仏教婦人会連盟総会
25		寺院女性会連盟総会
26		関野組団体参拝
28		布教団総会

ラジオ放送（西本願寺の時間）

『みほとけとともに』

北日本放送（KNB）・738kHz.

□第2・4日曜日（富山・高岡制作）午前6:00～6:10

●4月9日（日）

岡西好持師

（高岡教区）

●4月23日（日）

青木哲隆師

（高岡教区）

※西本願寺が主催し「北日本放送（KNB）」にて放送してまいりました毎週土曜日午前5時35分から「西本願寺の時間」は、2022年9月末をもって放送終了となりました。

また「高岡教区及び富山教区が主催し「北日本放送（KNB）」にて放送しております毎週日曜日午前6時からの「西本願寺の時間」は、今後も放送いたします。

西本願寺では「動画配信サイトを設置し法話等を配信しております。ご視聴ください。」

<https://broadcast.hongwanji.or.jp/>

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。

一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱（170袋）10,000円

・1組（10袋）600円

お申込み先は…高岡市東上関446 高岡教務所内

（寺族青年会担当）

Tel. (050) 5587-7708(代表)

メール hourin18@gmail.com

【西本願寺高岡会館4月の常例法座】

ご講師： 寺西良夫師

（氷見東組明厳寺）

ご講題：『未定』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。